

- [地域間人口移動と経済力移動](#)
 - 吉村 弘
 - [地域を変え日本を変える](#)
 - 若井 具宜
 - [中国における工業化の進展と農工間資金移動の役割](#)
 - 奥田 麻衣・越智 泰樹・石田 三樹
 - [長江デルタ地域と中国地方の地域統合：政治経済学的分析](#)
 - 森田 憲・陳 雲
 - [耕畜連携型「エコ農業」の取り組みと課題](#)
[—社会起業家の非営利ビジネスモデルに基づく事例分析—](#)
 - 本田 光
 - [Bridging the Gap between the Regional Systems of Innovation Approach and Knowledge Creation Theory](#)
[—A Survey of ViewPoints and a Framework Towards Understanding and Enhancing Regional Knowledge Creation—](#)
 - ARGUERO, Luis Ignacio
 - [中国の社会福祉における政府の責任と民間部門の連携](#)
[—財政責任と財源の視点から—](#)
 - 李 鳳月
-

地域間人口移動と経済力移動

吉村 弘

北九州市立大学大学院社会システム研究科教授

要旨

本稿の目的は、地域間の人口移動がもたらす経済力移動を生涯余剰という視点から推計する

ことである。すなわち、都道府県を単位として、平成7～12年における地域間人口移動が地域の余剰（所得－消費）、過去余剰、将来余剰、生涯余剰へ与える効果について、その推計方法と資料を説明し、それに基づく推計結果を示す。ただし、検討すべき課題も残されており、その意味で本稿は試論的推計と見なされるべきである。

ここで、生涯余剰とは、人の生涯を通じての余剰である。平均的な人について、各年齢における所得と消費の差（所得－消費）をその年齢における余剰とし、出生からその年齢より前の余剰の合計を過去余剰、その年齢以後死亡までの余剰の合計を将来余剰として、過去余剰と将来余剰の合計が生涯余剰である。ただし、将来余剰は利子率（割引率）で割り引いて、また、過去余剰は利子率で増幅させて、それぞれ現在価値に換算されている。また、過去余剰については、既に過去のこととして確定しているの、利子率で増幅させた（現在価値に換算した）余剰の合計であるが、将来余剰については、その後の生存は確定していないので、利子率で割り引いた各年齢の余剰をさらに生存率で割り引いて、その合計として把握する。余剰は、当然のことであるが、プラスのこともあればマイナスのこともある。

推計の結果、1人当たり余剰は年齢・性別・地域によって大きく異なり、また、地域間人口移動は、年齢別・性別にみると地域間の違いが大きい。したがって、地域間人口移動は、地域の諸余剰に対して地域間に正負様々に大きく異なる効果を与えることが分かる。

キーワード

地域間人口移動、経済力移動、余剰、過去余剰、将来余剰、生涯余剰

[\[第20号 目次\]](#)

地域を変え日本を変える

若井 具宜

広島県立大学名誉教授

要旨

本稿の目的は、広島を始めとした地域経済を、長期的・世界的視点から再評価し、日本経済と併せた処方策を考えることにある。具体的には「経済のサービス化」、「人口・労働の動向」、「地域環境とニュービジネス」、「成熟経済と広域化・世界標準化」という地域経済および日本経済が共に直面する4つの大きな切り口から、地域と日本の双方に関わる変革の方向及び改善策を探って行く。結論としては「世界標準に適い、市民が何度でも挑戦しうる経済・社会・教育システムを早急に構築すべきである」ということであり、それには、国からの変革を待つのではなく、地域からも変革・接近を計らねば間に合わないのである。

キーワード

サービス、人口・労働、ニュービジネス、世界標準

[\[第20号 目次\]](#)

中国における工業化の進展と農工間資金移動の役割

奥田 麻衣

広島大学国際協力研究科

越智 泰樹

広島大学社会科学部研究科

石田 三樹

広島大学社会科学部研究科

要旨

近年中国の経済規模が大幅に拡大しており、世界全体に与える影響も年を追うごとに大きくなっている。一般的に、経済発展の初期段階では実質賃金の上昇が見られない。これは農村に膨大な過剰労働力¹⁾があり、都市の賃金が増えると彼らが都市に移動して賃金の上昇分を取り込んでしまうからである。中国はこの膨大な労働力を利用することによって工業化

を進めており、またその安価な労働力の利用を目的に海外からの直接投資も増加してきた。しかし、その一方で中国で労働力が不足しているという報告も増えている。本稿では、中国の工業化の進展が、産業構造や労働市場にもたらす変化を検討する。各省ごとに農業部門流出労働力と実質賃金の関係を見ると、1990年前後に実質賃金の上昇が見られる。他方、工業化の進展には、工業部門の資金調達が重要な課題である。日本の明治期には、鉄道・電話などの分野で農業部門からの融資が行われ、この農業部門から工業部門への融資が近代部門の成長を促したことが知られている。そこで、金融面に注目し中国の農工間の資金移動を推計すると、1989年を境に農業部門が余剰資金の発生する黒字主体となっていることが観察され、この余剰資金が工業化を促進したことが確認された。

キーワード

中国、二重経済、農工間資金移動

[\[第20号 目次\]](#)

長江デルタ地域と中国地方の地域統合：政治経済学的分析

森田 憲

広島大学社会科学研究所

陳 雲

復旦大学国際関係與公共事務学院

要旨

キーワード

[\[第20号 目次\]](#)

耕畜連携型「エコ農業」の取り組みと課題—社会起業家の非営利ビジネスモデルに基づく事例分析—

本田 光

広島大学大学院社会科学研究科社会経済システム専攻博士課程後期

要旨

本稿では、農産物に安全と信頼を求める消費者ニーズへの対応と自然生態系の保全とを目的に耕畜連携型「エコ農業」に取り組む事例を調査検討し、そのような農業が成立するための課題を以下のように提示した：1 地域的な特徴を活かした連携方法や販売事業に関するアイデアの創案、農家や住民の説得、社会的な合意形成等に着手するリーダーが存在すること。2 そのリーダーによって、農法転換に向けて農家や住民を組織するためのスキームが策定され、実行されること。3 耕畜両部門の農法と販売事業を管理するためのスキームが策定され、実行されること。

本稿では、上記の課題を克服している事例を、社会起業家による「選択的誘因」ビジネス・スキームの実行を通じた公共財供給モデルとして定式化する。

キーワード

エコ農業、耕畜連携、社会起業家

[\[第20号 目次\]](#)

Bridging the Gap between the Regional Systems of Innovation
Approach and Knowledge Creation Theory
—A Survey of ViewPoints and a Framework Towards Understanding
and Enhancing Regional Knowledge Creation—

ARGUERO, Luis Ignacio

Graduate School of Social Sciences, Doctoral Course, Hiroshima University

要旨

In the last decades, two issues have gained a lot of attention in papers dealing with the knowledgebased economy and society: on the one hand, the studies on how the local environment promotes innovation; on the other hand, the SECI model knowledge creation theory, mostly based in the firm level. Both approaches present interesting and original points but lack a bridge that could unify the concepts towards a better understanding of the knowledge creation process at the regional level. In this paper, notions of the regional innovation systems are re-conceptualized from a knowledge creation perspective and knowledge creation theory concepts are adapted to the regional level. Later, a framework is developed for grasping and enhancing regional knowledge creation. In order to promote innovative industries, regions should have policies to promote knowledge creation and diffusion and should have a good understanding on how the process of knowledge creation occurs. By directing policies towards knowledge creation, regions would be able to create a knowledge base and knowledge creating system particular to that place and achieve self-sustained development based on knowledge creation.

キーワード

Knowledge creation, Regional innovation, SECI model

[\[第20号 目次\]](#)

中国の社会福祉における政府の責任と民間部門の連携—財政責任と財
源の視点から—

李鳳月

広島大学大学院社会科学研究所社会経済システム専攻博士課程後期

要旨

本稿では、中国の社会福祉制度を研究対象として取り上げる。まず、計画経済から市場経済への政策転換によって、社会福祉における政府の責任の変遷を分析した。次に、福祉の財政投入および中央政府・地方政府の財政分担の現状を考察したうえで、社会福祉には大きな格差が存在していることを明らかにした。さらに、財政制度の仕組みから福祉責任と財政の不整合を分析した。国は財政投入の不足を補うため、民間投資の動員や宝くじの発行などを通じて、民間部門の力を積極的に投入しようとしていることが指摘できる。最後に、中国の社会福祉における中央政府・地方政府の適切な責任分担と官民連携の福祉システム構築に向けた考え方を提案した。

キーワード

財政責任、地域格差、官民連携

[\[第20号 目次\]](#)
